

題名	第1回旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場活用検討委員会 議事録概要		
日時	平成28年11月1日(木)	場所	仮設庁舎3階 会議室301

発言者	発言内容
事務局	(1) 旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場活用検討委員会設置要綱について 《資料1に基づき、説明》
事務局 委員	(2) 旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場活用検討委員会の会議の公開に関する取扱要領(案) 《資料2に基づき、説明》 《要領(案)を承認》
事務局	(3) 活用検討委員会の目的について 《資料3に基づき、説明》
委員長	委員の皆様、説明に対して質問はございますか。
委員 事務局	第2回の委員会は何ををするのですか。 他施設の事例見学を予定しています。
事務局	(4) 旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場について 《資料4に基づき、説明》
委員長	委員の皆様、説明に対して質問はございますか。
委員	河川改修前は、荒川は蛇行していて、もっと川島より桶川市域であったと聞いたことがあります。どこまでが桶川市の範囲なのか、境界線を確認したほうがよいと思います。
事務局	P. 11の国土地理院所蔵の昭和22年の航空写真であるが、とても貴重だと思いました。折角なのでもっと画質を鮮明化させる等、貴重な資料として整理したほうがよいと思います。
事務局	境界線については、承知しました。 航空写真については、鮮明な写真がないか等確認していきたいと思います。
委員	分教場の概要の桶川分教場の範囲の図に、弾薬庫の記載をお願いします。
事務局	承知しました。

事務局	<p>(5) 「桶川分教場」の活用の方向性について ≪資料5に基づき、説明≫</p>
委員長	<p>桶川分教場の活用の方向性に限らず、飛行学校に関する思いや考えについてお願いします。</p>
委員	<p>元々は現在の建物だけでなく、何棟もの建物がありました。多くの建物は（若宮寮の時代に）消失しています。平和を語り継ぐ場所として整備してほしいと考えています。</p>
委員	<p>戦争遺構として保存・整備されるのであれば、観光の名所として、平和を訴える場として活用できるとよいと思います。太郎右衛門橋からの見学経路は自動車でのアクセスが悪いと感じています。陸軍が使っていた頃の道路がどのような道だったか整理した方がよいと思います。</p>
委員	<p>文化財保護審議委員の立場としては、傷んでいる箇所を修理して保存することと、文化財を皆さんに知っていただくことが大事だと考えます。どのように大事なものであるかを含めて知っていただくことが希望です。</p> <p>また、地下には埋蔵文化財があるので、整備の際には破損しないように留意してほしいと思います。</p> <p>市民の立場としては、まずは市民の方に興味を持っていただくことを含めた活用方策を進めていけたらと思います。市内から市外や海外へと、広く外部の方に知っていただき、訪れてもらうことに繋がるとよいと思います。</p>
委員	<p>体験型の観光が主流になっているので、単に資料をみる資料館ではなく、当時の日本で起きていたことを肌で感じるができる工夫があるといいのではと思います。平和を考える場とすれば、当時の戦争の体験や教育を受けた方の話を含めて、映像や、音声を残していくことが、教育上重要ではないかと思います。立地上サイクリングロードの途中にありますので、観光や人々の交流の拠点となりうる点も含めて整備することも考えられます。その他市内の文化財と連携して発信もできるとよいと思います。駐車場や交通アクセスが課題であると思います。</p>

委員	<p>観光協会としては、今後、目的を整理したいと思いますが、飛行学校の何を伝えていくのか、市の考え方が幅広いと感じます。観光とひと括りにしても、戦争のことから、平和か、建物の歴史的背景か、サイクリングロードの立寄り公園なのか。</p> <p>来訪者や案内ガイドさんは高齢の方が多いです。平和や遊びの要素も考えていった方がよいと思います。</p>
委員	<p>西側に大木があって薄暗い感じがしますが、樹木を整理してはどうでしょうか。高台なので、樹木を整理して展望台として活用できるとよいと思います。</p>
委員	<p>桶川分教場をいかに活用したらよいかについてですが、現存の施設だけでは、アピールする材料が少ないように思います。桶川分教場のそばのホンダエアポートやサイクリングロード、道の駅など、分教場だけでなくこれらの取り組みと並行、連携して進められるとよいと思います。</p> <p>駐車場や出入り口は今後整備すれば良いことで、広域的にはアクセスがよくなってきていると感じています。</p>
委員	<p>メートル法と尺貫法が組み合わされた建物が、戦争当時の建物として、歴史上貴重とのこと。そのような建築学上の貴重性もアピールしていけるといいのかと思います。</p> <p>子どもたちが訪れて学べるような場、市内の学校行事で現代史を学ぶ場として活用しやすい施設になるといいです。</p> <p>川越市における蔵造りのまちづくりは、都内から40kmの近郊にあって、地元の皆さんが頑張ったことがポイントでした。桶川市も昔に比べて自動車交通のアクセスがよくなって多くの人に来ていただけます。その際に桶川分教場だけで観光客を呼ぶのは難しいので、道の駅など、複数の周辺観光資源が連携して、より多くの方々の来訪を進められると良いと思います。</p>
委員長	<p>何のために保存するのかははっきりする、周辺資源との連携の必要性について、ご意見がありました。</p>